

緊急地震速報や余震に対して動物がひどく不安を感じていたら何ができるか？

緊急地震速報の警報音や余震に対して動物がひどく怖がっていたり不安を感じている場合、適切な薬物療法と環境・行動療法によって動物の不安を和らげることができます。 日本ヒルズ・コルゲート株式会社 / どうぶつの総合病院 入交眞巳

取り急ぎの抗不安作用を期待できる薬

シエルターなどで落ち着かせる際に初日から3日間くらい使ってみられる薬

・ジアゼパム	0.5~1.0mg/kg	経口投与	5~6時間に1回与えられます
・アルプラゾラム	0.02~0.1mg/kg	同上	
・ロラゼパム	0.02~0.2mg/kg	同上	高齢の動物や肝臓のダメージが心配な動物に使えます
・ジルケーン	25mg/kg	1日1~3回	

これらの薬はGABA-A受容体に作用する即効性のある抗不安剤で、長時間は作用しませんが強い不安を感じている時に取り急ぎ使用できます。災害発生から数日間の対処に有効です。

不安行動が数週間経っても長引いている場合に使う薬

・クロミプラミン	犬：2~3mg/kg bid	猫：0.5~1.0mg/kg sid
・パロキセチン	犬：1~2mg/kg sid	猫：0.5~1.0mg/kg sid

震災のあと、復興期において動物がちょっとした揺れや携帯の音に敏感に反応する場合、人のPTSD的な症状を示している可能性があり、抗うつ剤を使うことで治療可能です。効果が出るまで1~2ヶ月かかりますし、長期的(数ヶ月)に飲ませていく薬です。

行動修正

- ・ 緊急地震速報などの警報音が鳴って犬が慌てても追いかけたりせず、逆に大好きなおやつをあげたり、得意な号令をかけてその行動をさせておやつを与えます。楽しい思いをさせ、警戒音が怖いことを意味することが無いようにしていきます。ひどい場合は警報音が鳴らないようにしましょう。
- ・ 決まった場所に常に隠れに行く場合は、その場所を安全地帯とし、犬がそこに逃げこむのを無理に止めたりしないようにします。隠れている時におやつをあげて気持ちをリラックスさせるのが良いでしょう。
- ・ 一緒に避難するためにキャリーに入れる練習をします。キャリーを置いておき、そこに大好きなおやつを放り込み、犬が入ったり出たりするようにします。おやつを食べている間にドアを閉めて中にいることに鳴らさせ、いざというときにそこに入れて一緒に逃げられるようにしていきます。